

第55回関東ブロック研究大会ちば大会

「Re:〇〇」～ちば発 明日につながる PTA のカタチ～

令和5年10月28日(土)・29日(日)

Refresh/Reborn/Release/Remind/
Respect/Redesign/Revolution この7
つの頭文字の「Re」を取り、それ
ぞれの想いが込められておりま
す。7つの分科会は、この「Re」
のテーマに沿って、28日(土)に、
7会場で開催されました。

日本PTA関東ブロック大会
ちば大会が令和5年10月28
(土)・29日(日)と開催されま
した。大会スローガンである「Re:
〇〇」とは、コロナ禍を経てこれ
から、新しいPTAのカタチを、
私たちが見つけ、形作っていこ
う！というメッセージが込められ
ております。



八千代高校パフォーマンス

29日(日)は、千葉ポートアリ
ーナのメインアリーナで全体会と
して、大会式典・記念講演会が人
数制限なく開催されました。ご来
賓の方々が多数列席され、緊張感
漂う厳かな式典でありましたが
盛会で、最後は会場が笑顔であふ
れるそんな時間を過ごすことがで
きました。オープニングは地元の
高校生(千葉県立八千代高等学
校)による、和太鼓と書道パフォ
ーマンは圧巻で、目の前で書き上
げていくその勇ましい姿に感動し
ました。

記念講演では、放送作家の鈴木
おさむ氏をお招きしての「〓鈴木
おさむ流 〇〇のカタチ」とい
う演題のもと、60分の講演を拝
聴しました。

《第5分科会》

『学校と家庭におけるICT機器の
効果的な活用に向けて～ICT機器の
利用と基本的生活習慣の確立～』

学校と家庭が一体となってICT機器
の効果的な活用の方法と、子どもたちの
望ましい生活習慣の確立に向けて研究
した成果を発表いただきました。

那珂川町立馬頭中学校
前PTA会長
齋藤 高洋氏



放送作家を目指したきっかけが
学校の先生や友人にあった話や、
奥様であり芸人の大島美幸さん
のお話。中でも出産のお話は、会
場の笑いが止まりませんでした。

放送作家として有名になった過
程には、人との出会いと逆境を武
器に変える精神力で何度も苦境
を超えた結果という話。どの場面
を切り取っても、感動と笑いがあ
り、あつという間の60分でした。

特に、自分の『付加価値』とい
うお話は、子育て中の我が子に対
しても、当てはまるお話でした。
誰もができるわけではない、特別
な経験は、自分の付加価値を高
め、それを武器にすること。

鈴木氏はそれをモットーに32
年間、自他ともに認める天職と言
えるテレビ業界で仕事をしてきま
したが、一転、今の自分の背中を
子どもに見せようと決め、放送作
家を引退なされました。これが
「鈴木おさむ流 家族のカタチ」
そう締めくくりました。子育てを
している親であれば、我が子のこ
とを一番に思い、親の背中を示す
ことは、大切なことであるという
鈴木氏からのメッセージに改めて
感動いたしました。盛会に幕を閉
じたちば大会。次回は、川崎の地
で開催されます。

情報委員長 山本 和紀



全体会参加者集合写真